

Economic Indicators

発表日: 2024年10月18日(金)

日本経済指標: 来週の予測と今週の振り返り

～カード支出から見た9月の実質消費は前月比減少～

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

○来週 (10月21日～10月25日) の主な指標予測

	指標名	当社予測	市場予測	前回結果
10月21日 (月)	14:00 9月コンビニエンスストア統計 既存店ベース売上高(前年比)	—	—	—
10月22日 (火)	8:50 10月主要銀行貸出アンケート調査			
10月23日 (水)	14:00 9月チェーンストア販売統計 店舗調整後販売額(前年比)	—	—	—
10月24日 (木)	8:30 8月毎月勤労統計・確報 名目賃金(前年比)	—	—	—
10月25日 (金)	8:30 10月消費者物価指数(都区部) 東京総合(前年比)	+1.8%	+1.7%	+2.2%
	東京コア(前年比)	+1.8%	+1.7%	+2.0%
	8:50 9月企業向けサービス価格指数	+2.6%	—	—
	14:00 8月景気動向指数改訂値 CI先行指数(前月差)	—	—	—
	CI一致指数(前月差)	—	—	—
	14:30 9月全国百貨店売上高 店舗数調整後(前年比)	—	—	—

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成

10月都区部消費者物価指数(生鮮食品除く総合) 当社予想: 前年比+1.8% 中央値: 同+1.7%

CPI コアは前年比+1.8%と、前月の+2.0%から上昇率が縮小すると予想する。昨年10月に補助金が半減された裏が出ることで、電気・ガス代の伸びが鈍化することが影響する見込み。今月注目されるのはコアコアの動向。10月は価格改定期であることから、サービス価格を中心として値上げの動きが広がるかどうか焦点になる。

(シニアエグゼクティブエコノミスト: 新家 義貴)

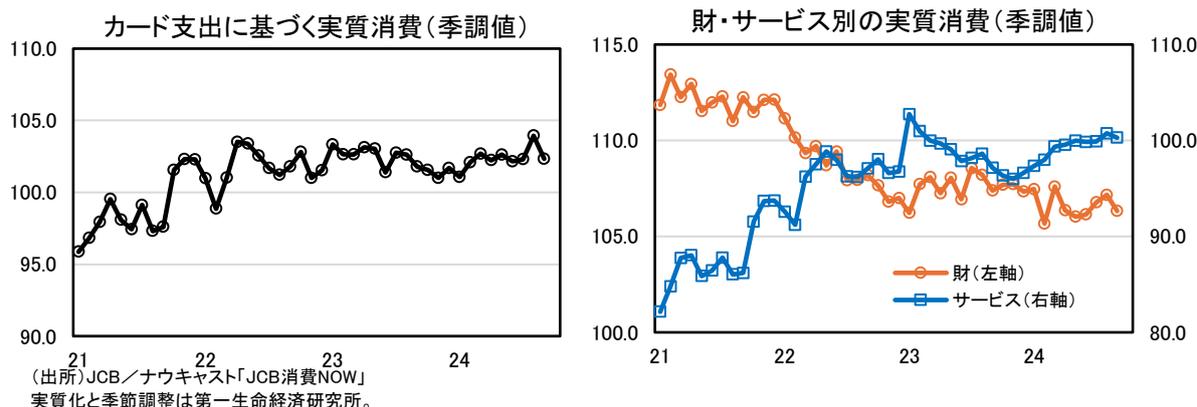


○今週（10月14日～10月18日）の振り返り

	指標名	結果	市場予測	前回結果
10月16日（水）	8:50 8月機械受注統計 船電除く民需（前月比）	▲1.9%	▲0.2%	▲0.1%
10月17日（木）	8:50 9月貿易統計 輸出金額（前年比） 輸入金額（前年比） 貿易収支（原数値、億円） 13:30 8月第3次産業活動指数 （前月比）	▲1.7% +2.1% ▲2,943 ▲1.1%	+0.5% +3.0% ▲2,121 —	+5.5% +2.3% ▲7,032 +1.4%
10月18日（金）	8:30 9月消費者物価指数（全国） 全国総合（前年比） 全国コア（前年比）	+2.5% +2.4%	+2.5% +2.3%	+3.0% +2.8%

9月JCB消費NOW・消費総合指数

9月のカード支出から見た実質消費支出（季節調整値）は、前月比▲1.5%（8月：同+1.6%）となった（実質化と季節調整は第一生命経済研究所）。内訳をみると、財、サービスともに減少した。実質消費の回復は鈍く、台風等天候の影響で8月下旬から減速していたが、9月も弱い動きが続いた。



8月機械受注・船舶電力除く民需

8月の機械受注（船舶・電力を除く民需）は前月比▲1.9%と、2か月連続の減少となった。業種別には製造業が同▲2.5%、非製造業（船電除く）が同▲7.7%とそれぞれ減少した。単月での減少幅は非製造業のほうが大きいですが、非製造業は6月、7月と増加してきた反動とみられる。一方で、製造業は3か月連続の減少となり、7-9月期は3四半期ぶりの減少に転じる公算が大きい。もともと機械受注の7-9月期内閣府見通しは前期比+0.2%と強くないことから、7-9月期は低調な結果に終わる可能性が高いだろう。

- 10/16 発表「機械受注統計調査(2024年8月)～製造業、非製造業ともに減少。外需にも要警戒～」
(<https://www.dlri.co.jp/report/macro/384840.html>)もご参照ください。

9月貿易統計・貿易収支額（原数値）

9月の貿易統計では、輸出金額が前年比▲1.7%、輸入金額が同+2.1%となり、貿易収支は▲2,943億円の赤字となった。輸出、輸入ともに数量指数では前年比減少が続く中、為替レートが円高に進んだことで価格指数も前年比縮小した。この結果、輸出金額は10か月ぶりに前年比減少に転じ、輸入金額も縮小傾向が続いた。物価変動の影響を除いた実質輸出（季節調整値）でみると、7-9月期は前期比+3.2%と2四半期連続の増加となった（実質化と季節調整は第一生命経済研究所）。NIESやASEANを中心としたアジア向けの電子機器や一般機械が好調で、全体を牽引した。一方で、米国向け、中国向けは前期比マイナスとなるなど、主要輸出相手国向けは伸び悩みが続いている。

- 10/17 発表「貿易統計(2024年9月)~7-9月期の実質輸出は半導体関連で持ち直し~」

(<https://www.dlri.co.jp/report/macro/384988.html>)もご参照ください。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

